

# テント設営の流れ

## 1 活動の流れ

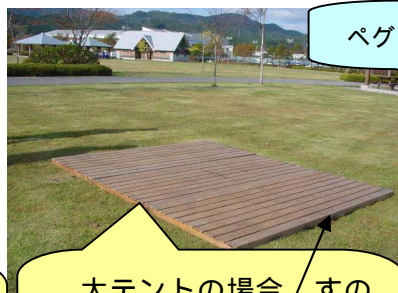


大テント：3枚  
小テント：2枚

すのこ板を倉庫から運びます。(この写真のように重ねて片付けてください。)



テントとフライシートを運びます。(大・小それぞれ分けて収納してあります。)



大テントの場合、すのこ板の辺の長い方が出入り口です。(小テント 短い方)

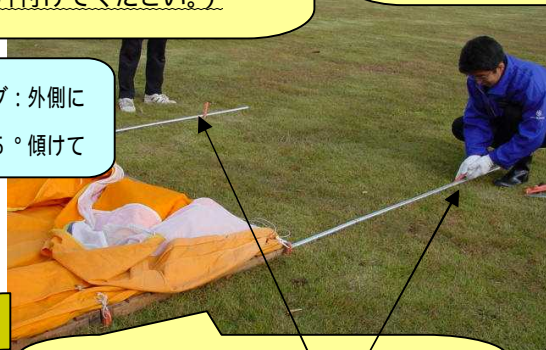


袋から取り出して中身を確認します。



グラウンドシートを広げ、すのこ板の上にしきます。

ペグ：外側に  
45°傾けて



親綱のペグの位置を支柱を使って決めます。(3分の2の位置)



輪になったすそひもにペグを通し、すのこ板にそって垂直に打ちます。



裏側にある2本に分かれたすそひもをグラウンドシートのハトメに通して結びます。



ファスナーを開け、出入り口側に置きます。



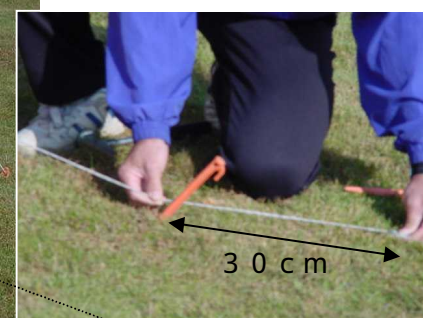
支柱頭をテント両端の穴に差し込み、すのこ板の上に立てます。



親綱の中央の輪を支柱頭にひっかけて、ランナーで調節しながら親綱をピンと張ります。



4隅の綱(隅綱)を張ります。ペグの位置は、すのこ板の対角線上に綱をピンと伸ばして30センチ程手前に打つといいです。



30 cm





残りの腰綱を張ります。ペグは、一直線上になるように打つと足で引っかけたりしません。



フライシートをかぶせます。支柱頭にシートを引っかけないように注意します。



張り方は、テント本体と同じです。親綱は1本でテント本体を固定するペグと共用です。



かさをかぶせます。



テント本体の入っていた袋にペグ袋、支柱袋、フライシート袋をまとめて入れ、整理してテント内端におきます。



テント本体に触れないように、しわが寄らないように張ります。

## 2 活動の留意点

- ・ 指導者のテントから研修生の全てのテントが把握できる位置に設営します。
- ・ 天気のよい日は、入口を開けて風通しをよくし、テント内を乾燥させます。
- ・ ハンマーは、1本ペグ入れに入れておき、必要に応じて使います。